



株式会社 明保設備

2024年度

環境経営レポート



(対象期間： 2024年 7月 ～ 2025年 6月)



〈第3版〉

発行日： 2025年9月30日



株式会社 明保設備

環境経営方針

《環境経営理念》

株式会社 明保設備 は、
全ての事業活動において適用される環境関連法規を遵守し、
事業活動が与える環境負荷をしっかりと把握していきます。
全社一丸となり環境経営の継続的改善に取り組み、
環境負荷を低減させながら一層の安心・信頼のサービスをご提供し、
お客様と共に成長していきます。

《環境保全への行動指針》

1. 環境関連法規 及び エコアクション21の要求事項を遵守する
2. 二酸化炭素排出量（電気・ガソリン使用量）の削減を推進する
3. 廃棄物の削減 及び 再生利用を推進する
4. 水使用量の削減を推進する
5. 会社周辺の清掃 及び
地域や関係団体等の環境活動に積極的に参加する
6. 研修等を通じて
環境経営方針や環境活動について従業員に周知徹底する



制定日： 2023年3月30日

改定日： 2024年9月30日

株 式 会 社 明 保 設 備
代表取締役会長 田村 正明

◆組織の概要◆

事業者名 株式会社 明保設備
代表者 代表取締役会長 田村 正明

所在地 本社
東京都府中市新町 2-1-1

事務所
東京都府中市新町 2-12-2 アキホキア

倉庫・資材置場
東京都府中市新町 2-1-1
東京都八王子市中山204-8

環境管理責任者 総務部 畠山 智恵子 TEL：042-365-3670

事業の概要 建設業（主に 設備工事業 のうち 管工事業）

建設業許可 令和7年9月25日～令和12年9月24日

東京都知事 許可(特一7)第113907号

管工事業

東京都知事 許可(般一7)第113907号

土木工事業

とび・土工工事業

石工事業

鋼構造物工事業

舗装工事業

水道施設工事業

※ 前各号に付帯する一切の業務

産業廃棄物収集運搬業許可

令和7年8月9日～令和12年8月8日

東京都知事 13-00-155382号

廃プラスチック類

紙くず

木くず

繊維くず

ゴムくず

金属くず

ガラス・コンクリート・陶磁器くず

がれき類

(石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物を含む)

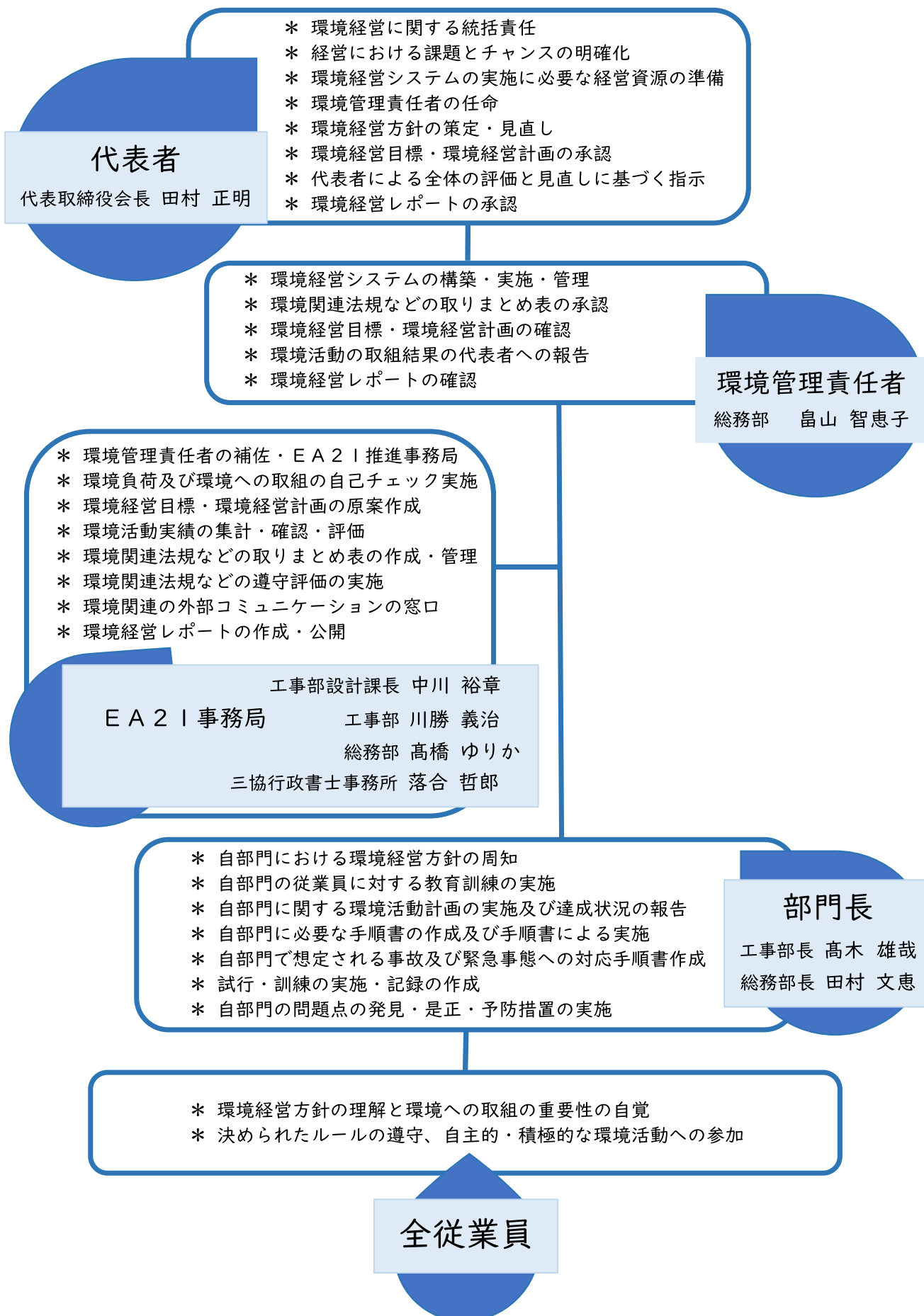
※ 自社運搬のみ取り扱い、業として行わない

事業規模

【事業年度 7月～翌年6月】

指標	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高 百万円未満 四捨五入	万円	61,400	106,800	69,100	105,500
従業員数 年度末	人	22	25	23	23
事務所床面積	m ²	198.89	198.89	198.89	198.89
資材置場床面積	m ²	199.00	199.00	199.00	199.00

◆環境経営実施体制と役割・責任・権限◆



◆認証・登録の対象範囲◆

認証・登録番号	0014053
認証・登録事業者	株式会社 明保設備 東京都府中市新町2丁目1番地1
事業活動	給排水衛生設備 及び 空気調和設備工事の施工
認証・登録範囲	全社（全組織・全活動）
対象事業所	本社 〒183-0052 東京都府中市新町2丁目1番地1 事務所 〒183-0052 東京都府中市新町2丁目12番地2
認証・登録日	2023年11月16日
有効期限	2025年11月15日

◆レポートの対象期間 及び 発行日◆

対象期間	2024年7月～2025年6月
発行日	2025年9月30日
次回発行予定	2026年9月頃
発行担当	E A 2 事務局



◆環境経営目標◆

基準値
年度

2021年度実績値
事業年度 7月～翌年6月

		基準値	中長期目標値		
目標	単位	2021年度 実績値	2024年度 1.50%削減	2025年度 1.75%削減	2026年度 2.00%削減
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	71,835	70,757	70,578	70,398
売上高あたり原単位	kg-CO ₂ /万円	1.170	1.152	1.149	1.147
電力使用量の削減	kWh	24,938	24,564	24,502	24,439
売上高あたり原単位	kWh/万円	0.406	0.400	0.399	0.398
ガソリン使用量の削減	ℓ	25,706	25,320	25,256	25,192
売上高あたり原単位	ℓ/万円	0.419	0.412	0.411	0.410
軽油使用量	ℓ	5	-	-	-
都市ガス使用量	m ³	422	-	-	-
廃棄物排出量の削減					
一般廃棄物の削減	ℓ	2023年度実績値 (3,676)	3,667	3,658	3,648
産業廃棄物の削減	t	31.12	30.65	30.58	30.50
産廃最終処分量の削減	t	3.57	3.52	3.51	3.50
水使用量の削減	m ³	185.5	182.7	182.3	181.8
化学物質使用量の削減	kg	2023年度実績値 (3,184)	3,176	適正管理	適正管理
環境に配慮した施工の実施					
工事成績評定優良達成	点	84	-	75	75

- * 売上高あたり原単位の表記は参考値である
- * 中長期目標は当初に5年間設定した2026年度までは固定とし
2024年度は2021年度の実績値を基準として-1.50%を目標値とする
- * 一般廃棄物排出量 および 化学物質使用量については
2024年度は2023年度の実績値を基準として-0.25%を目標値とする
- * 二酸化炭素排出係数は中長期固定とする
電 力： 0.452 [kg-CO₂/kWh]
東京電力エナジーパートナー(株) 2023年5月23日訂正前の2021年度調整後排出係数
ガソリン： 2.32 [kg-CO₂/ℓ]
「地球温暖化対策の推進に関する法律」2024年4月1日改正施行前の算出排出係数
(「単位発熱量」×「炭素排出係数」×「二酸化炭素の分子量44」/「炭素の原子量12」)
- * 軽油・都市ガス使用量については環境への当社の負荷全体に対する
比率が極度に小さいため削減目標設定対象から除外している
- * 化学物質使用量については2025年度から適正管理を定性目標とする
- * 自らが施工する設備等の環境性能の向上・サービスの改善に関して
工事成績評定において年度平均で優良工事基準である75点以上を
常時達成することを2025年度から新たに目標に設定する

◆環境経営計画と取組評価◆

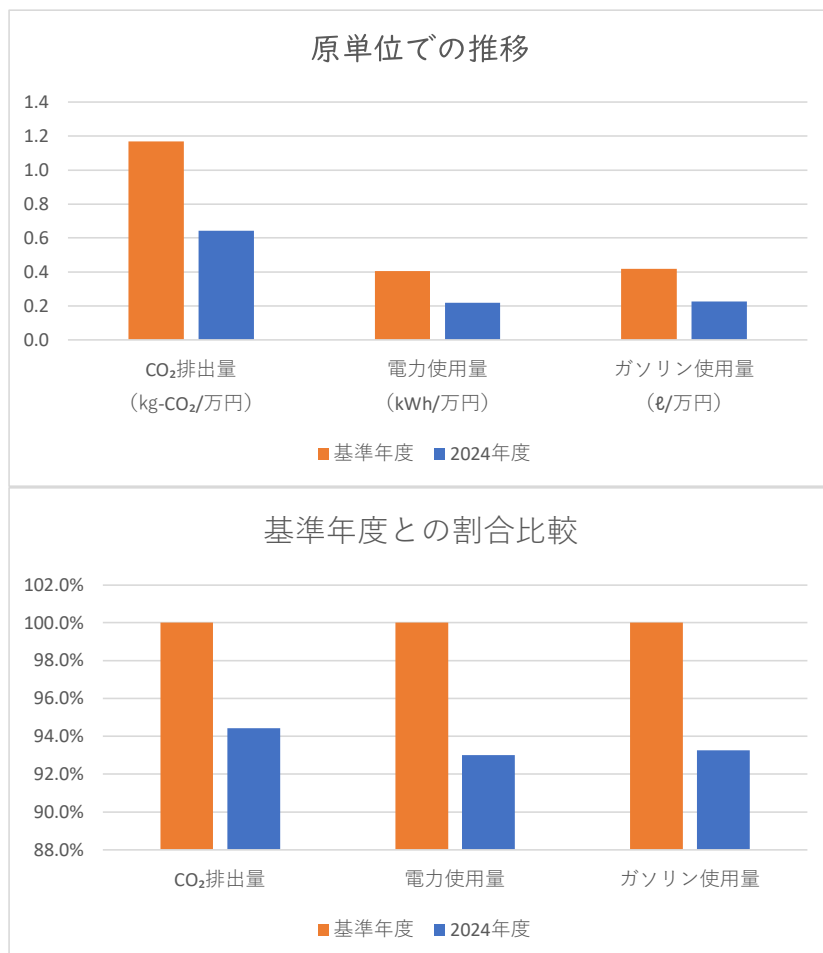
評価基準： ○…十分 △…やや不十分 ×…不十分

エコアクション	責任者	取組結果・評価	次年度
二酸化炭素排出量の削減			
電力使用量の削減			
・ 不使用時消灯・省電 ・ 室温の適正化 ・ 機器フィルター清掃	全従業員 事務局	△ 依然として照明や事務機器電源をつけたままにしていることが多く巡回を実施しなければならなかった	室温を夏28℃・冬20℃としたエアコンの適切な使用・機器類の省電や消灯管理を継続してP Cの更新による電力効率の向上も試みる
ガソリン使用量の削減			
・ エコドライブの推進 ・ 車両の定期点検整備 ・ 相乗りの推進	工事部	○ 車両の点検状況を把握して適切な対応を促しポスター掲示によるエコドライブの推進や現場状況に合わせた相乗りも心がけた	相乗りやエコドライブの推進を継続し車両の更新や整備により燃費の著しい低下を防ぐ
廃棄物排出量の削減（建設リサイクルの推進）			
一般廃棄物の削減			
・ 分別の徹底 ・ 廃紙の資源化 ・ 裏紙の使用	全従業員	○ まとめ排出時の分別の徹底はできているが各自の分別が不十分で再分別が必要なことがあった	ごみの集積・分別方法を再周知するとともに情報共有システムの活用に改めて取り組みペーパーレス化を推進する
産業廃棄物の削減			
産業廃棄物最終埋立処分量の削減			
・ 分別廃棄の徹底 ・ 資材整理の推進	工事部	△ 倉庫 及び 資材置場の整理が進み資材の無駄は減り分別の徹底にも引き続き取り組んだが目標達成は難しかった	引き続き資材の無駄をなくすよう努め来年度からは売上高あたりの原単位での目標設定も検討する
水使用量の削減			
・ 節水シールの貼付	事務局	○ 掲示がされているため水道水の出しすぎやかけ流しなどに注意し必要最低限の使用を継続することができた	水回りヘシールの貼付を継続し引き続き節水への意識啓発に努めてこれ以上の削減がまだ可能かどうか検討する
化学物質使用量の削減			
・ 保管場所の整備 ・ 在庫の管理 ・ S D S の厳守	工事部	○ 接着剤の在庫状況がわかりやすいよう保管場所を整備して適切な管理による使用量削減に努めた	対象化学物質が含まれる接着剤は工事で使用するため今以上の削減は難しく来年度からの目標を適正管理とする
自らが施工する設備等の環境性能の向上 及び サービスの改善			
工事成績評定優良達成			
・ 標準仕様書に準拠 ・ 評定基準の確認	工事部	－ 公共工事の成績評定で年度平均で75点以上を常時達成することを来年度からの目標として新たに設定した	標準仕様書および成績評定基準を全員が常に確認できる場所に保管して民間工事の施工の際にも参考にする

◆環境経営目標の実績評価◆

評価基準： ○…達成 △…ほぼ達成 ×…未達成

目標	単位	基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		2021年度 実績値	2024年度 目標値	2024年度 実績値		
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	71,835	70,757	67,830	104.3%	○
売上高あたり原単位	kg-CO ₂ /万円	1.170	1.152	0.643	179.2%	○
電力使用量の削減	kWh	24,938	24,564	23,193	105.9%	○
売上高あたり原単位	kWh/万円	0.406	0.400	0.220	182.0%	○
ガソリン使用量の削減	ℓ	25,706	25,320	23,970	105.6%	○
売上高あたり原単位	ℓ/万円	0.419	0.412	0.227	181.5%	○
軽油使用量	ℓ	5	-	382	-	-
都市ガス使用量	m ³	422	-	347	-	-
廃棄物排出量の削減						
一般廃棄物の削減	ℓ	2023年度実績値 (3,676)	3,667	2,618	140.1%	○
産業廃棄物の削減	t	31.12	30.65	65.39	46.9%	×
産廃最終処分量の削減	t	3.57	3.52	9.73	36.1%	×
水使用量の削減	m ³	185.5	182.7	114.5	159.6%	○
化学物質使用量の削減	kg	2023年度実績値 (3.184)	3.176	1.230	258.2%	○
環境に配慮した施工の実施						
工事成績評定優良達成	点	84	-	87	-	-



◆環境関連法規などの遵守状況の確認◆

法的義務が適用される主な環境関連法規等

法規制等の名称	遵守確認
廃棄物処理法	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
消防法（危険物取扱部分）	○
容器包装リサイクル法	○
家電リサイクル法	○
フロン排出抑制法	○
東京都廃棄物条例	○
府中市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例	○
労働安全衛生法（石綿則）	○
オフロード法	○

- ＊ 2024年11月の中間審査時における改善事項への対応として
環境関連法規などの一覧表の取りまとめを
事業活動上遵守が必要な法的要求事項に絞って再度行い
それに基づいて遵守確認の評価を実施した

◆違反・訴訟の有無◆

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、
遵守されていることを確認しました。

また関係当局からの違反等の指摘、
訴訟、並びに環境上の苦情等はありませんでした。

◆代表者による全体評価◆

評価 及び 見直しに関連する情報	
対象項目	内容
環境経営目標の達成状況	産業廃棄物の排出量・最終処分量の削減目標が今年度も未達成となったが工事内容による影響が大きいため目標設定の仕方を再考する
環境経営計画の実施・運用結果	計画した取り組み自体はできたが実施・運用の方法についてルールや分担などの交通整理をしてより皆にわかりやすくまとめる必要がある
環境関連法規の遵守状況	環境関連法規等を取りまとめた一覧表を改訂しそれに基づいた遵守確認の評価を行った
問題点の是正・予防措置実施状況	中間審査において要改善とされた建設リサイクル推進に関する目標の再設定と環境に配慮した施工に関する目標の新規設定を実施した
外部コミュニケーション記録	環境関連法規制等への違反等の指摘・訴訟・環境上の苦情はなし
エコアクション21文書	文書様式の一部見直しも実施し記録・保管を行っている

代表者による全体の評価と見直し・指示		
対象項目	変更の必要性	代表者による評価 及び 指示事項
環境経営方針	有 ・ ⑤	方針に変更はないため引き続き継続的改善に取り組む
環境経営目標	⑤ ・ 無	建設リサイクル・化学物質使用量についての目標の再設定と環境に配慮した施工に関する目標の新規設定を行った
環境経営計画	⑤ ・ 無	産業廃棄物削減目標の設定方法や達成手段は再検討し来年度の計画にはP Cの更新や情報共有システムの活用推進も組み入れる
実施体制	⑤ ・ 無	外部機関の三協行政書士事務所を補助機関として事務局に加え体制を補強する
その他システム全般	⑤ ・ 無	様式の改訂や実施・運用方法の整理を更に行って無理なく継続して取り組めるようにシステムの再構築を目指す
【総評】 取り組みを通じて、社員の間で温度差のあった環境への意識の差が少しずつ縮まってきて、それが一定の成果につながっていると感じられるようになってきた。 従業員ひとりひとりの小さな意識の変化が、環境や社会、経営の改善にも貢献していくため引き続きこの変化が継続することを期待する。 今後もエコアクション21に取り組みながら、従業員が安心して働きお客様にも信頼される経営環境の整備に努め、より良い好循環を生み出せるように改善を継続していく。		

評価実施日： 2025年9月12日

株 式 会 社 明 保 設 備
代表取締役会長 田村 正明